

本遺伝子検査の結果と検出精度について

遺伝子検査は非常に精度の高い検査方法ですが、その性質上 100%の検査結果を保証するものではありません

検査結果が“陽性”の場合（高リスク/低リスク）

検査結果が陽性の場合には以下のような理由により誤って陽性と判定される場合があります

- ・他の陽性個体との接触により検体サンプルにウイルス等が付着していた場合
ペットショップお迎え直後やドッグランなど他の動物と接触直後に検査を行った場合に多く発生します
- ・検体の取り違いや検査依頼書の記入間違い（複数羽の同時検査の場合）

検査結果が“陰性”の場合（低リスク/中リスク）

検査結果が陰性の場合には以下のような理由により誤って陰性と判定される場合があります

- ・採取したサンプルにウイルスが存在しない、または検出限界以下のわずかな量のウイルスしか採取できなかった場合
- ・既知のウイルスとは異なる遺伝配列をもった新種、亜種の場合
- ・採取したサンプルが古い、熱や光で劣化している場合
- ・サンプルに土壌などの PCR 阻害物質が多く含まれている場合や、本検査に無関係の遺伝子(ヒト唾液や汗)が含まれている場合

検査結果が陰性の場合、複数回の検査を受けることでより信頼度の高い検査結果となります。

例 3回の検査を受けていずれも陰性だった場合の信頼度は 99.9%以上です

免責

遺伝子検査は、病気の診断や健康状態、発症のリスクを判定するものではなく、提供されたサンプル中に原因菌及びウイルスが含まれるかどうかをお知らせするサービスです。本サービスの提供により、病気の有無や健康状態についての診断、発症リスクの判定を保証するものではありません。

ユーザーが当研究所の指定する方法によらずに検体を採取し、その他ユーザーに起因する検査結果の誤り等について、当研究所は一切の責任を負わないものとします。

当研究所は、当研究所の故意または重過失によってユーザーに生じた損害については、当研究所がユーザーに対して損害賠償の責めを負う場合であっても、その損害の範囲は、直接かつ現実に発生した通常損害に限られるものとし、逸失利益等の間接損害又は特別損害は含まれません。かつ損害賠償は、検査の無償によるサービスの再提供又は当研究所が委託者から取得した当該検査の実施による委託料金の検査受託料金の返却のいずれかを限度として、当研究所の裁量により選択できるものとします。

当研究所は、該当法令、行政庁による該当ガイドラインを順守している限り、遺伝子検査及び遺伝子検査結果に対する全ての成果物に対する損害賠償責任等の一切の責任を負わないものとします。

当研究所は、当研究所から郵送された遺伝子採取キットによる遺伝子資料を採取、もしくは血液検体による遺伝子資料を採取するにあたって生じた損害については、一切の責任を負わないものとします。

個人情報の利用

本サービスの利用によって取得した個人情報は検査結果の通知及び連絡に使用するものとする
検査結果等のデータは個人を特定できる情報を削除した上で論文などに掲載することがあります